



平和、くらしの願い大切に
いつでもどこでも活動の原点をつらぬいて

佐藤 まさゆき

県議会議員

プロフィール

1967年新潟県生まれ(47歳)。金沢大学理学部物理学科卒業、県議1期、原水協県常任理事、党県副委員長。

●趣味 音楽(ZARD)・映画・落語(柳家小三治)鑑賞、民主主義文学会準会員

「よりよい生活と平和のために」の生協の理念が、私が活動に踏み出す出発点です。大学時代、大学生協の代表の1人として、ヒロシマ・ナガサキを訪れ、被爆者の話に平和への思いを強くしました。

反戦平和は日本共産党に参加した原点。安倍政権の「戦争する国」づくりは絶対に許さないと、頑張っています。



↑「海外で戦争する国にはしない!」集団的自衛権は反対です。」

↑原発再稼働「ノー」「即時ゼロ」を求めて国会請願署名を提出。

日本共産党 総選挙 8→21議席へ

国会議員の論戦に共感し、その活躍に期待の声が…。
暴走政治と対決する日本共産党と議員の姿を紹介します。

党国会議員団が力あわせ、願い実現へ新たな前進 小中全学年で35人学級を

小学2年生から、毎年度、1学年ずつ、35人学級を拡大するには最大139億円の国負担で実施できます。国はこの指摘をうけ、「実現をめざす」意向を示しました。



原発集中立地の危険審査も、検討もなし!

大問題を追及

若狭湾は「地震の巣」です。原子力規制委員会が、高浜原発について、原発集中立地の危険性の審査、検討もなく「適合」と判断した問題を批判。「再稼働」は許されないと追及しました。
(藤野やすふみ衆議院議員)

政党助成金廃止法案を 国会に提出しました

政党助成金は、腐敗政治をつくりだす一つの根源になっています。

政党は、国民の中で活動し、国民の支持を得て、その活動資金をつくるのが基本です。

国民の苦難軽減を立党の精神として

豪雨・土砂災害などへの救援、日々のくらしの困りごと相談、長時間サービス残業の相談など、さまざまな生活相談に応えて頑張っています。

「国民の苦難軽減」が日本共産党の立党の精神です。この立場が日本共産党の議員活動の原点です。

憲法改悪を許さず 「地方自治」を大切にする党として

日本共産党は、民主主義がなかった戦前から「地方自治」の確立を主張しつづけた党です。こんな歴史をもつ党議員だから、自治体本来の仕事—「住民の福祉の増進」(地方自治法)のためにしっかり働くことができます。

政策・実現力アップ

日本共産党 4名の金沢市議員団に増やしてください
議案提案権いかし、子どもの医療費〆窓口完全無料化、実現へ

4/26
金沢市議選



(新) おおくわ初枝



市議・現1期 奥野ひでなり



市議・現1期 広田みよ



市議・現7期 森尾よしあき